

植生保護柵一覧表

別紙

設置年度	No.	名称	植生区分	立地	面積 (㎡)		ギャップ		大径木 (設置時) 直径80 cm以上	出現種数 (R4植生調査)	備考	
					柵内	柵外調査範囲	設置時	現在				
H25	1	春日山4-1	コジイ①	斜面下部	835	1,569	○			13科15種	・イヌガシ等の低木種が優占。常緑広葉樹やナギにより林冠の閉鎖が進行。	
	2	春日山5-1	カシ①	尾根部	817	1,548	○	○		31科46種	・コジイとツクバネガシが優占。ギャップ下ではモミやウリハダカエデなどの実生・稚樹が生育。 ・支柱破損 (R4)	
	3	春日山16-1	スギ②	斜面下部	721	1,503	○	○		33科61種	・アラカシが優占。林床ではカギカズラやオオバノイノモトソウが多く生育。 ・メッシュパネル (金網) 型植生保護柵	
	4	花山1-と-1	コジイ③	斜面中部	468	1,330		○	コジイ	41科84種	・モミとコジイが優占。柵内大径木の枝枯れの進行 (ナラ枯れ・穿入生存木) で明るい環境。草本・落葉樹が増加・生長。 ・支柱破損 (R4)	
	5	花山2-い-1	コジイ③	斜面中部	464	1,311	○	○		37科59種	・コジイとサカキが優占。枝折れ等で生じたギャップ下で落葉樹・草本が生育。コジイとモミの実生が定着。 ・修復植栽実証実験 (R1: 21本植栽→R4: 20本生残)	
H26	6	春日山8-1	コジイ③	斜面下部	1,637	2,032	○	○		32科47種	・コジイとモミが優占。ギャップ下ではシダ (コバノイシカグマ等) が繁茂。アラカシなどの実生が生育。 ・ナンキンハゼ伐採 (R2: 10本)	
	7	春日山9-1	カシ①	斜面上部	1,087	1,679			アカガシ	26科36種	・アカガシが優占。柵内の林冠はやや閉鎖。柵外の攪乱 (台風による樹木の幹折れ、H30) でネット際は明るい環境。先駆性樹種 (カラスザンショウ) 等が出現。	
	8	春日山9-2	カシ⑤	斜面上部	885	1,581		○	ツクバネガシ	44科88種	・ツクバネガシとイチイガシが優占。柵内大径木の枝枯れの進行 (ナラ枯れ・穿入生存木) で明るい環境。落葉樹が出現。 ・設置前にナギ数量調整 (H26試行実験、柵設置範囲に生育していた39本中20本が伐採)	
	9	春日山9-3	カシ②	谷部	2,116	2,186			イチイガシ	56科107種	・イチイガシが優占する湿地帯。レッドデータブック選定種を含む多様な植生の生育。 ・設置前に周辺部でナギ数量調整 (H26試行実験、柵設置範囲に生育していた11本中6本が伐採) ・ナンキンハゼ伐採 (R3: 1本)	
	10	春日山11-1	カシ③	斜面上部	865	1,506		○	ウラジログシ、アカガシ、ツクバネガシ	34科60種	・ウラジログシとアカガシが優占。大径木の倒木によりギャップ形成。落葉樹が増加。	
	11	春日山13-1	カシ④	尾根部	687	1,546	○	○	ウラジログシ	34科57種	・コジイとウラジログシが優占。柵内大径木の主幹折れによりギャップが形成。つる性木本を含む落葉樹が増加。	
	12	更新区2-は-1	スギ①	斜面下部	737	1,446			ツクバネガシ	17科23種	・ツクバネガシが優占。閉鎖林冠で林床が暗い環境。	
	13	春日山4-2	コジイ①	斜面中部	989	1,650			コジイ	33科56種	・スギが優占。コジイとウラジログシの実生が生育。	
	14	春日山5-2	スギ②	尾根部	1,090	1,637	○	○		38科61種	・スギとコジイ、ウラジログシが優占。先駆性樹種 (ウリハダカエデほか) を含む落葉樹が増加し繁茂。 ・修復植栽実証実験 (R3: 15本植栽→R4: 15本生残)	
	15	春日山8-2	コジイ③	尾根部	983	1,624			ツクバネガシ	26科41種	・モミとコジイが優占。シダ類と落葉樹が増加。	
	16	春日山9-4	コジイ②	谷部	385	1,153				20科28種	・ナギが優占する林分に設置した植生保護柵。閉鎖林冠。	
H27	17	春日山11-3	カシ③	斜面上部	1,652	1,931	○	○		30科58種	・ツクバネガシが優占。ギャップ下で落葉樹とシダ類が増加。 ・修復植栽実証実験 (R4、10本)	
	18	春日山12-1	カシ①	斜面中部	789	1,601			アカガシ	9科11種	・カシ類 (アカガシ、ウラジログシ、ツクバネガシ) が優占。やや暗い急斜面地。	
	19	春日山12-3	カシ①	尾根部	498	1,339	○	○		21科29種	・アカガシが優占。急斜面地。	
	20	春日山13-2	コジイ②	谷部	339	1,199			ツクバネガシ	13科20種	・ツクバネガシとコジイが優占。谷部に位置し暗く湿った環境。	
	21	春日山13-5	コジイ②	斜面上部	656	1,485	○	○		23科38種	・ツクバネガシとコジイが優占。急斜面地。実生は岩場などの安定した箇所です生育。ギャップ下ではコバノイシカグマなどのシダ類が出現。	
	22	春日山14-1	スギ②	斜面中部	979	1,587			アラカシ、ウラジログシ	30科43種	・ウラジログシとスギが優占。林床はやや暗いがカシ類やモミの実生が生育。	
	23	春日山14-2	スギ②	尾根部	477	1,239			アカガシ	23科32種	・アカガシとコジイ、スギが優占。林床はやや暗いが落葉樹が増加。アカガシ実生の生長・定着。 ・支柱破損 (R4)	
	24	春日山15-1	ムクロジ林	斜面上部	1,223	1,794			ウラジログシ	29科50種	・ウラジログシが優占。林冠木 (ウラジログシ、スギ等) の影響でやや暗い環境。ムクロジなどの落葉高木種やウラジログシの実生が生育。	
	25	春日山16-2	ムクロジ林	斜面下部	973	1,651	○	○				・土砂流入による倒壊を繰り返したため撤去 (R3)。
	26	春日山16-3	コジイ②	尾根部	840	1,688			ウラジログシ	24科33種	・コジイとウラジログシが優占。閉鎖林冠。	
	27	春日山16-4	スギ②	谷部	1,269	2,040	○	○		43科87種	・スギが優占するがイヌシデ等の落葉高木が生育。沢に近接しやや湿った環境。スゲ類が多く出現。	
28	更新区1-に-1	スギ②	尾根部	643	1,437			アカガシ	23科36種	・スギとアカガシが優占。閉鎖林冠。 ・支柱破損 (R4)		
29	花山1-と-2	コジイ③	斜面中部	970	1,602	○	○		51科105種	・コジイが優占。ギャップ下で草本と落葉樹が生育。 ・修復植栽実証実験 (R2: 9本植栽→R4: 6本生残) ・支柱破損 (R4)		
30	花山2-と-1	カシ⑤	尾根部	452	1,186		○	ウラジログシ	35科58種	・ウラジログシとコジイが優占。柵内や周囲で発生したナラ枯れにより明るい環境。落葉樹や草本が増加。		
31	花山2-と-2	スギ①	谷部	725	1,425			コジイ	23科36種	・コジイとスギが優占。遊歩道に近接する谷部で閉鎖林冠。		
32	花山2-と-3	カシ⑤	斜面下部	1,050	1,568	○	○		27科46種	・ウラジログシが優占。全体的に明るくウリハダカエデ等の先駆性樹種の実生・稚樹、落葉低木種が繁茂。 ・支柱破損 (R4)		
H28	33	春日山3-2	コジイ②	斜面下部	610	1,455			ツクバネガシ	28科39種	・イヌガシとモミが優占。台風による攪乱 (H30) 、柵付近の大径木の伐倒 (R1、ナラ枯れ穿入被害木) により明るい環境。落葉樹が増加。	
	34	春日山4-3	コジイ①	斜面下部	555	1,290	○	○	コジイ	17科19種	・イヌガシが優占するがコジイ等の高木も生育。	
	35	春日山8-3	コジイ②	尾根部	773	1,423	○			29科54種	・イヌガシが優占。つる性木本 (ヤマイバラほか) の繁茂により暗い環境。柵内外でナギが生育。	
	36	春日山9-5	カシ②	斜面下部	640	1,372	○	○	ウラジログシ	42科77種	・スギとイヌガシが優占。大径木の枯死 (ナラ枯れ) で明るい環境。ナチシダ等のシダ類が増加。	
R3	37	花山1-と-3	コジイ③	斜面中部～下部	3,959	2,856	○	○	コジイ	57科125種	・コジイとサカキが優占。沢部を含み斜面下部は湿った環境。 ・保護柵の仕様変更 (支柱強度の向上、支柱設置間隔の短縮、支え支柱の追加、スカート幅の拡充)	
					34,837	58,470	18箇所	20箇所	22箇所が大径木を含む保護柵	84科288種		
					(約3.5 ha)	(約5.8 ha)						